

ハゲタカ親分の 孤独な☆☆



カスタム

第4回

僕のオーディオ初体験

みなさん、チヨリッッス！ いよいよ第4回目です。今回は僕が今までやってきたオーディオインストールについて、語っちゃいます。

僕がはじめてカーオーディオに触れたのは、チエイサーGX61の次に買ったマークII (GX71)のリアスピーカー交換でした。当時は、リアトレイに載せる、置き型タイプだったので多かったですね。ポジションやブレーキに連動させて、スピーカー背面のブランドロゴが光ったりする物もありましたね。ナツカシート。それから、本格的にやっつたのが、パニング時代に組んだ3wayのマルチシステム。マルチシステムってのは高音、中音、低音をそれぞれ独立させてあげるシステムのことなんです。クロスオーバーネットワーク(特定の周波数を拾う機械とやらを使って、それぞれのスピーカーに合った音を出力するわけです。そんなのを、ハイエースの広い室内



内で実践したのが、オーディオの魅力にどっぷり浸かりはじめた、そんな頃ですかね。

当時のオーディオイベントって結構イケイケだったんですよ

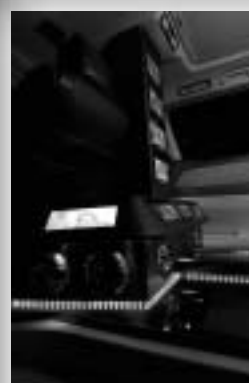
当時オーディオの大会といえば「日本音圧協会」や「ASCA」という大会が各地で行われていました。これに仲間が参加していたので、よくついて行きました。その頃は、箱乗せクラス既製のウーハーBOXを積んだだけ、パワフル、人乗せクラスというコンテストがあったりして、これは、クルマに人がたくさん乗って、中で大声を出して叫んで音圧を測定!! ステキにおバカなコンテストですよ?

まあ、こんな変なコンテストばかりじゃないですけど、まじめなものも含め、かなり盛り上がりつつありました。基本はとにかく音圧万歳!! まだ、いまほど景気も悪くはなかったですから、友達もイベントごとで作ったり壊したりして、

「夢をカタチに!!」がセクカムのモットーです

と、いつも通り話が脱線してしまいました。ここでインストールの続きをば。まず、インストールもオーナーも、求めることは「カッコイイ!」これが一番です。ま、これはオーディオに限らず、いろいろなことでも、せつかく、オリジナルで作るんだから「カッコイイ!」にしたいことはいわゆる、決められた寸法の中にた詰め込む、もしくは並べるだけならホント簡単なんです。僕を含めインストラーの皆さんは、限られた中で、いかにカッコよく魅せるか! かってことを、いつも努力しているんだと思います。

使うユニットも高い物、安い物、いろんなラインナップがあります。ただ、値段に限らず、そのユニットの能力や魅力を引き出せるインストールが最大のテーマだと思っています。僕のインストールのモットーは「夢をカタチに!」なんです。お客さんが、頭の中で描いている物をカタチにしてあげたら素晴らしい物ができると思っています。もちろん、予算との兼ね合いもあるので、



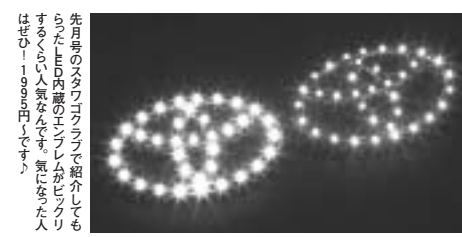
こういうオリジナルの高級カスタムはやはりワンオフだからこそ、ユーザーさんの熱意に応えるカタチで僕の魂を吹き込んでます!

カスタムオーディオはひとつの芸術品でござる

いま、ドレスアップというカテゴリーの中で、オーディオは切り離すことのできないひとつのカテゴリーになっている気がします。僕が思うカスタムオーディオってのは「ひとつの芸術品」なんだと。エタラシ世界の巨匠が「人物画は最後に入れる腫の入れ方、その絵が生きてか死ぬか決まる」とおっしゃいました。きつと腫を入れなから、「ブウ」って魂を吹き込むんだと思っただけ、僕も同じです。僕の作品には、僕の魂がこもっているんです。そして、手間がかかた奴ほど可愛いんです。これは、苦労してわが子を産んだ女性の気持ちに近いんじゃないかな?

極力近づけてあげられたらって感じなんですけど...。最近、音吉塾のようなインストラーを養成してくれる所もあるおかげで、日本での取り付け技術がものすごく進化してきたと思います。日本を代表する、いや、世界でもトップレベルを誇る、尾林ファクトリーさんなど大御所の作品は、とても素晴らしい、それに刺激された若いインストラクター(ちなみに僕も↑の仲間に入れてください!!)がたくさん育つてます。もちろん、カスタムオーディオの認知度もドンドン上がっています。

たぶん、読者の中には、僕らの仕事って「カッコいいなあ」とか「楽しそうだなあ」と思っている人がいるかもしれない。表面的には確かにそう見えるかもしれない。裏は結構大変なんです。夜中に一人寂しく、パテを研ぐこともザラ。パテの粉が僕のさびしいオデコにひっついて、さらに残念なことにもなることも多々...。これは、どんな仕事にも共通していることですが、決して楽な仕事なんて無いっすからね。もし、楽な仕事があったら、皆さん、僕にごっそり教えちゃってください。と、こんな感じで、see you next month!



応援&質問メール募集中!!
セクシーカスタム・溝井さんへの応援メッセージ、さらにはドレスアップやプライベートなことまで、なにか質問があれば下記アドレスにメールしてください。このコラムで採用された人には幻のステッカーをプレゼント!
ケータイでピピッとすれば簡単にメール可能! → sexy@does.jp

profile 溝井禎浩 みぞい よしひろ
昭和×年6月24日生まれ(年齢不詳)。新潟で生まれ、東京中野を経て、神奈川県相模原市で青春を謳歌する。父の仕事は建具業。クルマ好きの父の影響で、カーカスタムに没頭する。自らユーザーとして活躍した後、平成12年3月4日(ごだわりの1・2・3・4!!)に神奈川県相模原でセクシーカスタムを立ち上げる。イベント会場でも発見しやすい身長183cm+自称、髪の毛は少なめ(笑)がトレードマーク。最近のマイブームは、仕入れと勉強をかねて訪れている中国。口癖は「うっかり」「〜って残念な感じだよね...」。

SEXY CUSTOM
セクシーカスタム
神奈川県相模原市東瀬野5-7-1 ☎042-730-3505
10:00~20:00 月曜日
HPアドレス http://www.sexy-custom.com